

花ごよみ【山野草園】

2013年 9月21日

動物園
(本園)



山野草園

地図中の番号の場所
でご覧いただけます。



① オミナエシ(女郎花)



② オトコエシ(男郎花)

女郎花は秋の七草のひとつです。男郎花は女郎花より強く丈夫そうに見えるとされています。漢方では両種とも根を敗醬根と呼び消炎や排膿に用います。



④ ミズヒキ

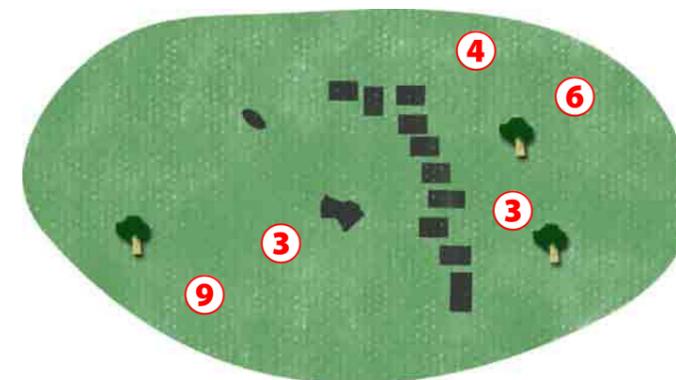
花は上から見ると赤く見え下から見ると白く見える姿を紅白の水引に見立てたと言われています。



⑤ マルバフジバカマ



⑥ マツカゼソウ



③ ヒガンバナ

昼と夜が同じ長さになる秋分の日と、その前後3日間は秋のお彼岸。この時期に赤く燃えるように咲き、秋の訪れを告げる印象的な花です。ヒガンバナは別名も多く、曼珠沙華(マンジュシャゲ)をはじめ、シヒトバナ、カジバナ、ハカバナなど全国で1000以上の名前があるとされています。また、花と葉が同時に地上に現れないのが特徴です。秋の



お彼岸の時期になると茎が伸びてきて鮮やかな花を咲かせ、花の後は茎だけが残ります。やがて葉を伸ばし、冬の間球根に栄養を蓄え、夏近くなると葉は全てなくなります。球根はアルカロイド系の猛毒を含み、かつては土葬の遺体をネズミなどから守るためお墓に植えられました。しかし、この球根にはデンプンが30%も含まれ、よく水でさらせば食用になるため昔の人は非常時の食料にしたという記録も残っています。



⑦ ハギ

秋に草かんむり『萩』と書く秋の七草の一つです。中秋の名月にハギ、ススキを月見団子と一緒に供える風習もあります。



⑧ ヤブラン



⑨ タイワンホトトギス